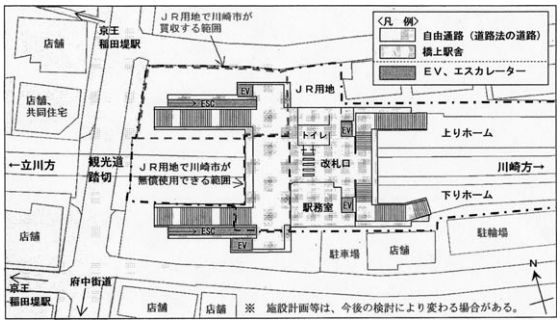
いちばん近くで、動く、働く、

南武線「橋上駅舎化で利便性向上へ」！

市は、稲田堤駅、中野島駅、宿河原駅、久地駅、津田山駅の5駅について、橋上駅舎化により踏切を横断せずに駅にアクセスできる整備計画を発表しました。

公明党は、稲田堤駅、中野島駅について、懸念される安全の面から質問し、「安全性第一でＪＲと協議を進める」との答弁を得ました。

橋上駅舎化の効果が特に高い津田山駅と稲田堤駅の整備を最優先し、平成29年に完成予定です。



IPS細胞の研究に大きく貢献！

公明党は、早くから臍帯血バンクの設立を推進してきました。

「造血幹細胞移植推進法」が国で成立しましたが、この臍帯血がＩＰＳ細胞の研究に大きく貢献することが明らかになりました。

ＩＰＳ細胞の培養に、臍帯血が大変有効であり、これまで10年経つと廃棄されていた臍帯血が研究に利用できるようになったのです。

この結果、従来は半年間で1000万円が必要とされていた自己細胞からの培養が、国民の95％に適合するＩＰＳ細胞の事前ストックが可能に！

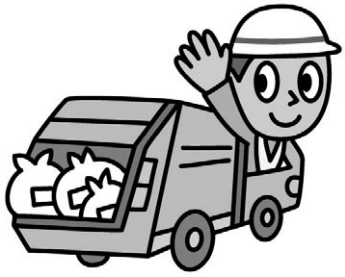
せき髄損傷の治療などが大きく前進することになります。

ノーベル賞受賞者の山中教授も絶賛しています。

ごみ収集見直しには市民の声を反映せよ！

市民への丁寧な説明及び集積所周辺の美化対策、回収時間等に対する改善、環境負荷の低減・経費削減について市の取組みをただしました。

環境局長は ①「今後は高齢者世帯をはじめ市民の方々へ効果が実感できる様な情報発信、また混乱が生じないよう丁寧な説明を実施する」②「環境美化対策についてはネット等を設置するモデル事業を早急に計画し対策を講じる」③「事業効果については、今後40年間で約720億円の経費削減をする」と回答。いずれも公明党の主張が反映されました。



新しいガン診断を推進！

「アミノインデックス・スクリーニング検査」という採血だけでガンリスクを判定できる新しい診断が注目されていること（臨港病院では2万円程度で検査可能）から、市立病院でも取り組むべきと主張。

ガン拠点病院でもある井田病院への早期導入を約束させました。自覚症状が出る前の早期発見へ向けて大きな前進です。

お知らせ

ミューザがリニューアル！

東日本大震災で吊り天井金具の強度不足などにより天井が大きく崩落したミューザ川崎シンフォニーホールが、昨年12月24日に復旧後の受け渡しが行われ、現在4月1日のリニューアルオープンに向け音響の検証が行われています。

公明党は、今まで以上に安全対策が施されたホールを今後も市民が安心して利用できるよう、工事の推移が分かる展示を入口広場で行うことを提案しています。

「県有施設の原則全廃」の真意！

Q 「県有施設の原則全廃」等の報道が先行し、市民に不安が。なかには市営住宅も無くなるとの文書も出回るが、市長の見解は？

A 県有施設見直しは、市への負担や市民理解のないまま進めることのないよう県に対応を求める。一方、県営住宅については、県直営方式が有利との県の見解を得ている。市営住宅についても、低額所得者に対し低廉な家賃の住宅を引き続き適切に提供する。

障害者虐待防止センター10月1日オープン！

虐待によって障がい者の権利や尊厳が脅かされることを防ぐための法律「障がい者虐待防止法」が成立。

障がい者の虐待にかかわる通報や届出、支援などの相談機能を持つ「川崎市障害者虐待通報・届出受付ダイヤル」が設置されました。匿名による通報でも受け付けます。

専用ダイヤル（24時間対応）
☎044-200-0193

※聴覚障害のある方は各区役所保健福祉センターまでファクスで